

都市再生整備計画 モニタリングシート  
松代地区

平成25年12月

長野県長野市

様式3 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	長野市		地区名	松代地区		面積	306		
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施予定時期	平成26年度	モニタリング実施時期	平成25年度		交付対象事業費	764,100,000	国費率	4.1/10	
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施済み、実施中、実施予定の事業	基幹事業	事業名 道路(市道松代西153号線、代官町西条線(街))、地域生活基盤施設(耐震性貯水槽)、高質空間形成施設(小鮎川)、街なみ環境整備事業(旧金箱家住宅保存整備)				事業進捗の状況(順調か、遅れているか) 各事業は概ね順調に進捗しているが、小鮎川は計画変更の必要が生じている。					
		提案事業	松代小学校外構修景、旧金箱家住宅活用計画策定、登録文化財推進歴史的建造物調査、登録文化財推進歴史的庭園調査、歴史文化の発信・誘客				各事業は概ね順調に進捗している。					
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名 道路(代官町西条線)、高質空間形成施設(表柴町水路)				削除/追加の理由 ・代官街西条線(道):計画期間内の整備が困難なため。 ・表柴町水路:計画期間内の整備が困難なため。			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 影響なし		
		提案事業	なし									
	新たに追加した事業	基幹事業	事業名 既存建造物活用事業(旧金箱家住宅)				削除/追加の理由 ・保存整備から地域交流センターとして活用することとしたため。			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 影響なし		
提案事業		なし										
交付期間の変更	当初	平成22年度～26年度		変更		平成 年度 ～ 年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	モニタリング		目標		総合所見	今後の対応方針	
				基準年度	目標年度	計測年度	達成見込み					
	指標1	歴史的道すじの歩行者数	人/日	1,024	H21	1,000	H26	643	H25	あり ●	期待した実績値が得られなかったが、目標達成を見込んでいる。	各事業を推進し、効果を確認する。
	指標2	松代藩文化施設の入館者数	人/年	465,384	H21	600,000	H26	439,572	H24	あり ● なし ●	事業実施により一定の効果は認められるが、目標が過大であるとともに、長野電鉄株屋代線の廃線など新たな要素により、数値目標の達成が困難となっている。	各事業を推進するとともに、目標値の適正化を検討する。
	指標3	地区の道路整備に対する満足度	ポイント	54	H21	59	H26	55	H25	あり ● なし ●	市民の満足度が得られる整備が十分に行われていないと考えられる。	各事業を推進し、効果を確認する。
	指標4	地区の街並み整備に対する満足度	ポイント	62	H21	67	H26	62	H25	あり ● なし ●	市民の満足度が得られる整備が十分に行われていないと考えられる。	各事業を推進し、効果を確認する。
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	モニタリング		目標		総合所見	今後の対応方針	
				基準年度	目標年度	計測年度	達成見込み					
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況												
5) 実施過程の評価				実施内容			実施状況			今後の対応方針等		
	モニタリング		市民アンケート等によるモニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			●		市民アンケート等の実施により確認する。	
	住民参加プロセス		寺町商家利活用ワークショップ			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した モニタリング時点では実施していない			●		平成27年度公開に向けた、具体的な運営方法を検討する。	
	持続的なまちづくり体制の構築		—			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した モニタリング時点では実施していない			—		—	
6) モニタリングの所見	総合所見	順調	一部事業を除いて概ね順調に進捗しているが、指標の増加につながっていない面もあり、まちの一層の魅力向上に努めていく必要がある。				今後の事業の改善点		指標2の目標値の適正化を検討、長野電鉄株屋代線跡地利用計画との連携方法を検討、小鮎川事業の見直し			
		要改善	●									

# まちづくり交付金 モニタリングシート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 効果発現要因の整理

## (4) モニタリングの所見

- 添付様式5-① まちの課題の変化
- 添付様式5-② 総合所見・今後の事業の改善点

## (6) モニタリング原案の公表

- 添付様式6 モニタリング原案の公表

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式7 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他( )		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業										(単位:百万円)	
事業	事業箇所名	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
道路	市道松代西153号線	30	L=100m	30	L=100m	なし	—			●	H24完成
道路	代官町西条線	90	L=380m			平成23年12月に計画変更して削除隣接する河川の改修計画があり、河川改修後の事業着手となるが、事業期間内に河川改修が完了しないため事業を削除	指標1、3及び4に関連するが指標及び数値目標は据え置く	—	—	—	—
道路(街路)	代官町西条線	180	L=750m	180	L=750m	なし	—			●	H24完成
地域生活基盤施設(地域防災施設)	耐震性貯水槽	27	2基	6.6	1基	長野電鉄株屋代線の廃線に伴い、旧松代駅の跡地活用計画を策定するため、事業期間を延長。その後、計画地での用地の確保が困難なため事業量を縮小し、事業費を減額	影響なし			●	H23完成
高質空間形成施設	裏柴町水路	32	L=260m			平成23年12月に計画変更して削除地元意向の変化により事業期間内の事業完了が困難なため事業を削除	指標1及び4に関連するが指標及び数値目標は据え置く	—	—	—	—

高質空間形成施設	小鮎川	83	L=220m	83	L=220m	なし	—	●	史跡を巡る歩行者の道すじが再検討されることから、計画期間内での整備が困難なため事業見直しが必要 事業量をL=17mに変更 H25完了予定
既存建造物活用事業	旧金箱家住宅			325	保存改修 延べ床=509㎡	平成23年12月に計画変更し追加旧金箱家住宅活用計画の策定により、保存整備から、地域交流センターとして活用することとしたため、街並み環境整備事業から変更	影響なし	●	H26完成に向け事業推進
街なみ環境整備事業	旧金箱家住宅保存整備	295		55	庭園整備等 敷地面積=924.9㎡	旧金箱家住宅活用計画の策定により、建造物整備部分を既存建造物活用事業としたため、事業内容を変更し、事業費を減額	影響なし	●	H26完成に向け事業推進

提案事業

事業	細項目	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
地域創造支援事業	松代小学校外構修景	13.5	L=107m	13.5	L=107m	なし	—			●	H22完成
	旧金箱家住宅活用計画策定	5		5		なし	—			●	H22完成
事業活用調査	登録文化財推進歴史的建造物調査	8		8		なし	—			●	H26完成に向け事業推進
	登録文化財推進歴史的庭園調査	8		8		なし	—			●	H26完成に向け事業推進
まちづくり活動推進事業	歴史的文化の発信・誘客	50		50		なし	—			●	H22～H26継続して実施

(参考)関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	モニタリング時	当初計画	モニタリング時		
街なみ環境整備事業		松代地区	1,300	1,200	平成14年～平成23年	平成14年～平成27年	H27完成予定	
新御殿跡保存整備事業		松代町松代	1,070	1,079	平成14年～平成23年	平成14年～平成24年	H24完成	
旧文武学校保存修理事業		松代町松代	730	730	平成22年～平成28年	平成23年～平成28年	H28完成予定	
旧松代藩鐘楼整備事業		松代町松代	35.4	56.1	平成22年～平成23年	平成22年～平成24年	H24完成	

街路事業 長野真田線	松代町松代外	3,700	3,000	平成20年～平成28年	平成20年～平成28年	H28完成予定	
------------	--------	-------	-------	-------------	-------------	---------	--

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法とモニタリング値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		目標値(ウ)		モニタリング(エ)		現段階での目標達成見込み		総合所見	今後の方針
				基準年度		基準年度		目標年度		実施年度	あり	なし		
指標1	歴史的道すじの歩行者数	人/日			1,024	H21	1,000	H26	643	H25	●		期待した実績値が得られなかったが、目標達成を見込んでいる。	各事業を推進し、効果を確認する。
指標2	松代藩文化施設の入館者数	人/年			465,384	H21	600,000	H26	439,572	H24	●		事業実施により一定の効果は認められるが、目標が過大であるとともに、長野電鉄(株)屋代線の廃線など新たな要素により、数値目標の達成が困難になっている。	各事業を推進するとともに、目標値の適正化を検討する。
指標3	地区の道路整備に対する満足度	ポイント			54	H21	59	H26	55	H25	●		市民アンケートの結果、市民の満足度が得られる整備が十分に行われていないと考えられる。	各事業を推進し、効果を確認する。
指標4	地区の街並み整備に対する満足度	ポイント			62	H21	67	H26	62	H25	●		市民アンケートの結果、市民の満足度が得られる整備が十分に行われていないと考えられる。	各事業を推進し、効果を確認する。

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法とモニタリング値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		目標値(ウ)		モニタリング(エ)		本指標を取り上げる理由	総合所見	今後の方針
				基準年度		基準年度		目標年度		実施年度			
その他の数値指標1													
その他の数値指標2													
その他の数値指標3													

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

--

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の方針等
市民アンケート等によるモニタリング	予定どおり実施した	●【実施頻度】 計画期間中1回 【実施時期】 H25.12月 【実施結果】 指標について交付期間中の変化を確認することができた。	市民アンケート等により確認する。
	予定はなかったが実施した		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の方針等
寺町商家利活用ワークショップ	予定どおり実施した	●【実施頻度】 計9回 【実施時期】 平成22、24年度 【実施結果】 旧金箱家住宅(寺町商家)の利活方法について公募市民の意見を聞いた。	H27年度公開に向けた、具体的な運営方法を検討する。
	予定はなかったが実施した		
	モニタリング時点では実施していない		
—	予定どおり実施した	—	—
	予定はなかったが実施した		
	モニタリング時点では実施していない		

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
—	予定どおり実施した	—	—	—
	予定はなかったが実施した			
	モニタリング時点では実施していない			
—	予定どおり実施した	—	—	—
	予定はなかったが実施した			
	モニタリング時点では実施していない			



(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
まちづくり交付金検討会議	庶務課、第一庁舎・長野市民会館建設事務局、豊野支所、交通政策課、生活環境課、観光振興課、産業政策課、道路課、河川課、都市計画課、公園緑地課、市街地整備課、まちづくり推進課、駅周辺整備局、教育委員会総務課、生涯学習課、体育課、文化財課、文化芸術推進課、消防局総務課	年1~2回の定期会議、メール等による随時の情報交換を実施	都市計画課(まちづくり交付金主管課)

添付様式4-② 効果発現要因の整理

指標の種類別		指標1		指標2		指標3		指標4	
指標名		歴史的道すじの歩行者数		松代藩文化施設の入館者数		地区の道路整備に対する満足度		地区の街並み整備に対する満足度	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	市道松代西153号線	◎	歴史的道すじの整備や道路美装化などに加え、まち歩きマップの作成や散策会の開催などにより一定の効果は認められるが、長野電鉄(株)屋代線の廃線に伴う自動車の流入増加は、本指標に大きな影響を与えるものと懸念される。	○	新御殿跡保存整備や旧松代藩鐘楼整備の完成に加え、まち歩きマップの作成や散策会の開催などにより一定の効果は認められるが、目標が過大であるとともに、長野電鉄(株)屋代線の廃線や、旧文武学校保存修理事業の開始などにより、数値目標の達成が困難になっている。	◎	道路美装化、電線類地中化の実施により満足度の向上が図られた。一方、当計画では位置付けていない、幹線道路、生活道路の拡幅、舗装、歩道整備など住民要望の高い道路整備が遅れていることが、本指標に大きく影響を及ぼしている。	◎	道路美装化、電線類地中化、修景助成等の実施により一定の評価を得た。一方、廃屋、空き地の増加、更には景観に不調和な建築物の増加や歴史的建造物の消失など、地域全体としての取り組みの遅れが本指標に大きく影響を及ぼしている。
	代官町西茶線	◎		○		◎			
	耐震性貯水槽	—		—		—		—	
	小鮎川	—		—		—		—	
	旧金箱家住宅	—		—		—		—	
提案事業	旧金箱家住宅保存整備	—		—		—		—	
	松代小学校外構修景	○		○		◎			
	旧金箱家住宅活用計画策定	—		—		—		—	
	登録文化財推進歴史的建造物調査	—		—		—		—	
関連事業	登録文化財推進歴史的庭園調査	—		—		—		—	
	登録文化財推進歴史的庭園調査	—		—		—		—	
	歴史的文化の発信・誘客	○		○		◎		◎	
	街なみ環境整備事業	○		—		—		—	
	新御殿跡保存整備事業	○		◎		—		—	
旧文武学校保存修理事業	—	—	—	—	—				
旧松代藩鐘楼整備事業	△	△	—	—	△				
街路事業 長野真田線	—	—	—	—	—	—	—	—	

※指標改善への貢献度

- ◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献している。
  - : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献している。
  - △ : 完成直後又は事業開始直後のため、効果の発揮に至っていない。
  - × : 事業が完成したが、期待通りの効果を発揮していない。
  - : 評価できない。
- 〔 未着手又は事業中のため評価できない、事業と指標とに関係がないので評価できない 〕

今後の方針等	歴史的建造物、庭園の保存・活用を推進するとともに、歴史的文化的発信・誘客事業を推進する。	歴史的建造物、庭園の保存・活用を推進するとともに、歴史的文化的発信・誘客事業を推進する。	街なみ環境整備事業を推進する。	歴史的建造物、庭園の保存・活用を推進するとともに、街なみ環境整備事業を推進する。
--------	--	--	-----------------	--

#### (4) モニタリングの所見

##### 添付様式5-① まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	モニタリングの時点で達成されたこと (課題の改善状況)	交付期間中に解決すべき 残された課題	交付期間中に発生した 新たな課題
地区内には狭隘な道路が多く、自動車等の進入により地域住民の生活に支障が生じているとともに、街を回遊する観光客の安全性が確保されていない。	・道路美装化事業により、歩道の確保、拡幅、歩車道の舗装色分けなど、地域住民及び観光客の安全性を確保した。	・道路美装化事業など、残された計画事業の確実な進展を図る。	・平成24年3月末に長野電鉄(株)屋代線が廃線された。
点在する史跡等を結ぶ歩行者道路の整備が不十分であり、回遊性や滞在時間等の面で地区のポテンシャルを活かしきれていない。	・歴史的道すじの整備、道路美装化事業や電線類地中化事業により歩行者空間の整備が図られた。 ・文化財等を活用した「まち歩きコース」の開発、まち歩きガイドの養成、まち歩きマップの作成、散策会、シンポジウム、講演会、松代学講座視察研修の受入等の実施により、まちの回遊性を高めた。	・道路美装化事業など、残された計画事業の確実な進展を図る。 ・ソフト事業を継続し、地域の魅力を発信する。	
歴史的価値のある文化財等を観光資源として積極的に活用するための体制整備が必要となっている。	・旧金箱家住宅の活用を決定した。 ・歴史的建造物、歴史的庭園の保存・活用方法を検討するための調査を実施した。 ・当該地区のまちづくり及び観光振興を担うNPO法人を支援したことで、「遊学城下町 信州松代」のブランド化を進めることができた。	・旧金箱家住宅の保存整備の確実な進展を図る。 ・歴史的建造物、歴史的庭園の保存・活用方法の検討を推進する。 ・観光客を呼び込むための情報発信力が弱いため、情報発信力の強化が必要である。	

##### 添付様式5-② 総合所見・今後の事業の改善点

総合所見	今後の事業の改善点		
		具体的項目	内容
順調	事業の進め方の工夫	長野電鉄(株)屋代線跡地利用計画との連携方法を検討	跡地利用計画に係る情報を共有し連携方法を検討する。
計画・事業の進め方の改善が必要			
事業は概ね計画どおりに進捗しているが、指標の増加につながっていない面もあり、今後ともまちの一層の魅力向上に努めていく必要がある。	都市再生整備計画の見直しの必要性	数値目標の適正化	指標2については、当初の数値目標の設定が過大であると伴に、長野電鉄(株)屋代線の廃線など新たな要素の発生により、適正な事業評価が行えないため。
		小鮎川事業の見直し	史跡を巡る歩行者の道すじが再検討されることから、計画期間内での整備が困難なため。

## (5) モニタリング原案の公表

添付様式6 モニタリング原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット					
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他					

住民の意見	
-------	--

## (6) 有識者からの意見聴取

### 添付様式7 有識者からの意見聴取

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
信州大学工学部土木工学科 高瀬達夫准教授 長野県短期大学多文化コミュニケーション学科 築山秀夫准教授 信州大学工学部建築学科 梅干野成央助教	平成26年2月26日	都市計画課(都市再生整備計画主管課)

有識者の意見	都市再生整備計画評価委員会を開催し意見を聞いた。 <b>【評価委員の意見】</b> ・観光客の動向を分析し、情報を発信することが重要である。 ・まちづくりにおいてソフト事業は非常に効果的であり、今後もソフト事業を持続していくことが重要である。 ・松代藩文化施設の入館者数は目標値が過大であるため目標値の修正が必要である。
--------	--